

新基地建設反対名護共同センターニュース

共産党が知事選・統一地方選勝利めざし会議

デニー知事「辺野古反対は1丁目1番地」
日本共産党沖縄県委員会は25日、那覇市内で知事選・統一地方選勝利をめざす全県活動者会議を開催しました。玉城デニー知事が参加し、「4年間の実績の上に、誇りある豊かさを求め、沖縄を平和発信の拠点へと発展させたい。辺野古新基地反対は1丁目1番地だ」と決意を込めて連帯のあいさつをしました。

鶴淵賢次県員長代理が報告で知事選勝利の意義に触れ「沖縄から日本の政治を変える流れをつくるたかいた」と訴えました。渡久地修県議団長が「翁長県政・玉城県政は県民の宝」と題し、8年間の実績を紹介しました。第1次地方議員予定候補が紹介され代表が決意を表明、赤嶺政賢衆議議員があいさつしました。



上の写真は、デニー知事（右から4人目）、赤嶺氏（その右）を中心に両手を挙げる共産党県議など。右の写真は、挨拶するデニー知事



沖縄から日本の政治を変える流れを

反対協が「デニー知事再選を」と宣伝

「美ら海美ら島守る 玉城デニー」
ヘリ基地反対協はこのほど、デニー知事の再選への宣伝資材として独自に表題の幟を作りました。宣伝の時やテント村などに掲げています。



ヘリ基地反対協は名護市内で約100人が参加し「デニー知事を再選させ辺野古新基地建設を止めよう」と宣伝行動を展開。仲本興真事務局長が「参議院選挙でオール沖縄の伊波洋一さんが勝利した。政府自民党の権力的な攻撃を跳ね返して勝利した意義は大きい。次の知事選が天王山のたまたかいです。玉城デニー知事の再選を勝ち取り、基地のない平和な沖縄をめざしましょう」と訴えました。



自衛隊への名簿提出中止を！

名護市が市民の同意もなく自衛隊に18歳を迎える市民の名簿を提供していたことを地元紙が報道した問題で、ヘリ基地反対協の東恩納琢磨共同代表ら18人が名護市を訪問し、中止を申し入れました。仲本太市民部長（写真中央）は「名簿提供の義務はないものだったが、公共性があると判断して提供した。申し入れを受けて今後、検討する」と回答しました。

新基地建設強行の元凶 安倍元首相の国葬許さない



名護市住民訴訟第2回学習会

名護消防庁舎跡地の売却を巡る住民訴訟に関し「住民自治を考える第2回学習会」が23日、名護市内で開かれました（写真上）。6月の名護市議会と同問題の百条委員会で「不正は確認されなかった」と結論が出た点について4人の野党市議が報告。川野純治市議などから「不正がなかったのではなく確認できなかった。審議の中で新たな問題点も浮き彫りになった」との報告が相次ぎました。

※写真は、ゲート前で「安倍元首相の国葬反対」の手づくりのパネルを掲げる男性（20日）

議決定をした。沖縄の民意を踏みつけ、新基地建設強行した元凶が安倍元首相だった。その安倍元首相のために莫大な税金を使い、法的根拠もない国葬を行うことを県民の一人として絶対に許さないと語りました。



岸田内閣は安倍元首相の「国葬」を9月27日に実施することを閣議決定しました。ゲート前の県民からも「国葬反対」の声が上がっています。

閣議決定で新基地建設強行

ある男性（70）は「どんな理由であれ、銃弾で命を奪うことは論外だ。しかし、安倍さんが沖縄にたいしてとってきた政治的対応を考えたら甲意をどのように表かは別問題だ。2014年7月1日に憲法解釈を変え集团的自衛権行使を可能とした閣議決定したが、その日に新基地建設を推進するため辺野古沖の臨時制限区域を立ち入り禁止とする閣議決定をした。沖縄の民意を踏みつけ、新基地建設強行した元凶が安倍元首相だった。その安倍元首相のために莫大な税金を使い、法的根拠もない国葬を行うことを県民の一人として絶対に許さないと語りました。」